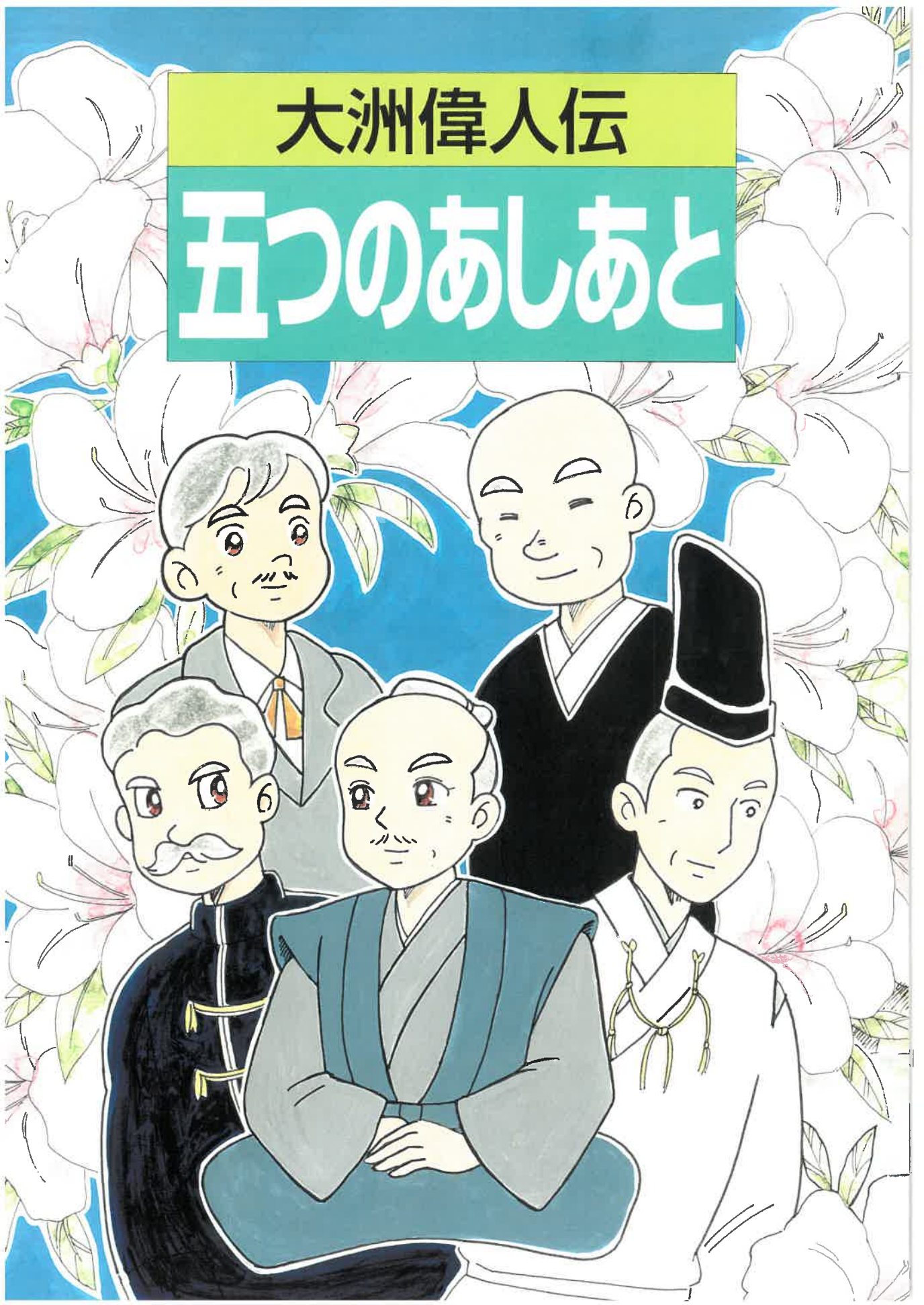


大洲偉人伝

五つのあしあと



大洲偉人伝 五つのあしあと



中江 藤樹

(なかえとうじゅ)

1ページ～24ページ

慶長13年(1608)、近江の國小川村(現在の滋賀県安曇川町)に生まれる。10歳の時に、祖父に連れられて大洲へやって来る。幼い頃からすぐれた意見や考えを持った人になるよう勉強にはげみ、大洲で武士として暮らす。晩年は小川村に帰り、慶安元年(1648)、41歳で亡くなる。



三瀬 諸淵

(みせもろぶち)

25ページ～48ページ

天保10年(1839)、喜多郡大洲町中町(現在の大洲市大洲)に生まれる。両親の死より医者になろうと決心し、おじである二宮敬作のもとで勉強する。安政5年(1858)、大洲で電信実験に、日本で初めて成功。シーボルトの通訳をするなど最後の弟子として活躍する。明治10年(1877)、39歳で亡くなる。



武田斐三郎

(たけだあやさぶろう)

49ページ～72ページ

文政10年(1827)、喜多郡中村(現在の大洲市中村)に生まれる。儒学や蘭学を学んだ後、兵学や砲術研究を行う。嘉永6年(1853)より、江戸幕府に仕えるようになり、蝦夷地(現在の北海道)の開発を命じられ、元治元年(1864)函館に五稜郭を完成させる。明治13年(1880)、54歳で亡くなる。



矢野 玄道

(やのはるみち)

73ページ～96ページ

文政6年(1823)、喜多郡阿蔵村(現在の大洲市阿蔵)に生まれる。日下塾、平田塾などで国学を学ぶ。慶応3年(1867)、幕府から政治が朝廷に返された時、政府の方針には玄道の意見が多く取り入れられた。「皇典翼」「神典翼」という本を書く。明治20年(1887)、65歳で亡くなる。



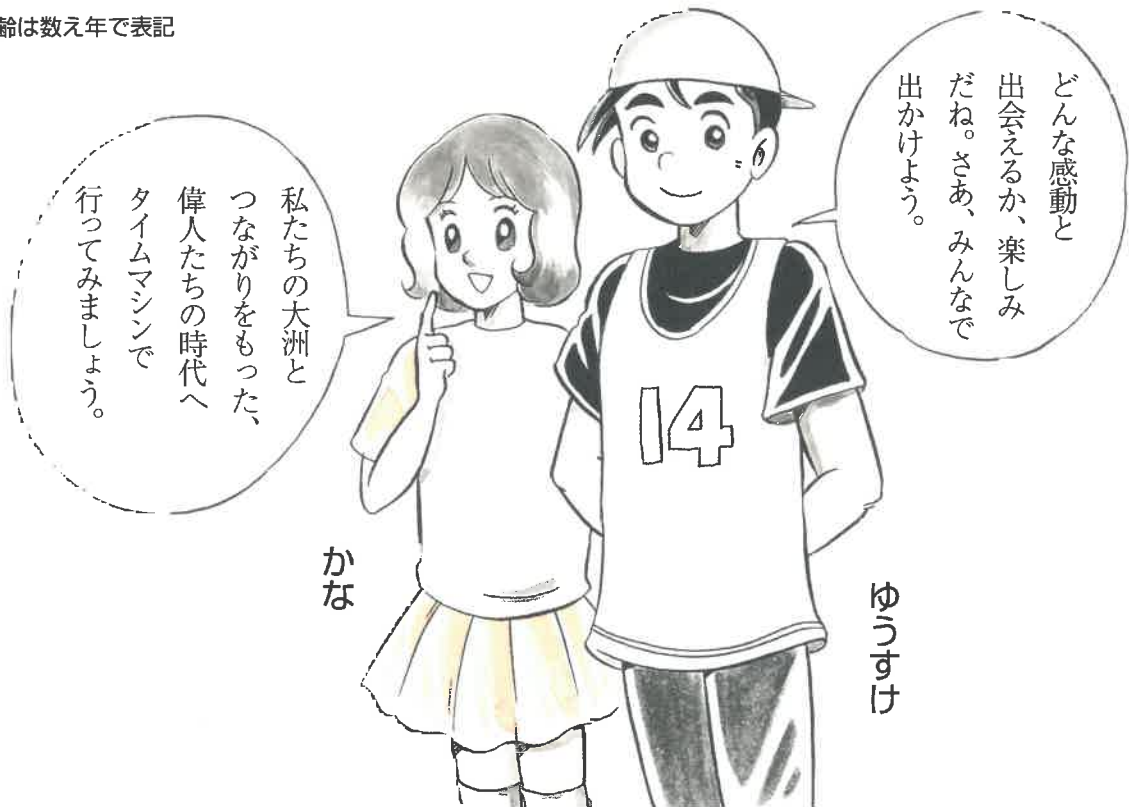
盤珪 禅師

(ばんけいぜんじ)

97ページ～120ページ

元和8年(1622)、播州揖西郡浜田郷(現在の兵庫県姫路市)に生まれる。12歳の時、「明德」とは何か疑問に思い、仏の道に入る。26歳の時、さとりを開く。明暦2年(1656)、加藤泰興の招きで大洲へ来る。寛文9年(1669)如法寺を開く。元禄6年(1693)、72歳で亡くなる。

※年齢は数え年で表記



私たちの大洲と
つながりをもった、
偉人たちの時代へ
タイムマシンで
行ってみましょう。

かな

どんな感動と
出会えるか、楽しみ
だね。さあ、みんな
で出かけよう。

ゆうすけ

《発刊に際して》

この度、(社)大洲青年会議所創立40周年記念事業の一環として、アニメ教材「五つのあしあと」を発刊する運びとなりました。21世紀を担う子供達に、私達のふるさと“大洲”を愛する心を育み、そして未知の可能性を持っている子供達に、この5人の偉人たちに負けないように、ふるさと大洲の為に頑張っていたきたい、そのような思いを込めて、40周年の記念事業として、発刊を致しました。

編集に当たりましては、大洲史談会、各小学校の先生方には、この事業の趣旨をご理解いただき、多大なるご協力を賜り、また、発刊に際しましても、大洲市教育委員会の後援、並びに財団法人榊山教育振興会の協賛をいただき、厚く御礼を申し上げます。私達は、今後、このようなふるさと教育を推進し、市民総参加の豊かなまちづくり、人づくりを目指して頑張っていく所存でございます。

〈編集委員〉

大洲史談会会長	中川	一生
大洲史談会副会長	今井	一行
大洲史談会	村上	恒夫
蔵川小学校校長	上久保	政夫
喜多小学校教諭	松田	宗治
新谷小学校教諭	岡田	廣温
大洲小学校教諭	横田	宏
大成小学校教諭	元永	和孝

(社)大洲青年会議所 創立40周年事業特別委員会

印刷／平成7年10月30日
発行／平成7年10月30日
発刊者／(社)大洲青年会議所
〒795 大洲市大洲891-1
☎(0893) 24-7107
印刷所／セキ株式会社

